

第35週の発生動向(2005/8/29~2005/9/4)

1. 咽頭結膜熱は、**青森保健所管内、上十三保健所管内**で引き続き**警報**が出されています。
2. 手足口病は、**上十三保健所管内**で引き続き**警報**が出されています。
3. 伝染性紅斑は、**むつ保健所管内**で引き続き**警報**が出されています。
4. ヘルパンギーナは、**青森保健所管内、上十三保健所管内、むつ保健所管内**で引き続き**警報**が出されています。

第35週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															0
(60) 咽頭結膜熱	7	0.88							3	0.50	1	0.25	11	0.26	-3
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			6	0.60	3	0.33			1	0.17			10	0.24	-4
(62) 感染性胃腸炎	18	2.25	11	1.10	4	0.44	4	0.80			10	2.50	47	1.12	6
(63) 水痘	1	0.13	1	0.10	2	0.22	2	0.40	4	0.67	2	0.50	12	0.29	-7
(64) 手足口病	15	1.88	6	0.60	16	1.78	4	0.80	25	4.17	1	0.25	67	1.60	1
(65) 伝染性紅斑	7	0.88	4	0.40					7	1.17	10	2.50	28	0.67	6
(66) 突発性発しん	6	0.75	4	0.40	6	0.67	5	1.00	5	0.83	5	1.25	31	0.74	-5
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															-3
(69) ヘルパンギーナ	36	4.50	10	1.00	6	0.67	1	0.20	18	3.00	15	3.75	86	2.05	-28
(70) 麻疹(成人を除く)															-1
(71) 流行性耳下腺炎	12	1.50			1	0.11	4	0.80	8	1.33	2	0.50	27	0.64	-3
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	4	2.00			2	1.00			5	2.50			11	1.00	0

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症 (三類全数把握疾患) 上十三保健所管内: 2人 (17年計 13人)
 (58) バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (五類全数把握疾患) 八戸保健所管内: 1人 (17年計 1人)

感染症の窓

腸管出血性大腸菌感染症

全国における腸管出血性大腸菌感染症の報告数は、第20週に50例を超え、23週には100例に増加しました。26週からは毎週100例以上報告されています(図1)。青森県では、第35週までに13例報告されており、昨年同時期の20例より少ない報告数となっています。保健所管内別では報告数全体の約半分の6例が八戸保健所管内です(図2)。

予防対策としては、まな板等調理器具の取り扱い、食品(食肉等)の十分な加熱、ヒトからヒトへの二次感染に対しては、糞口感染であることから手洗いの徹底などの注意が必要です。
 <参考: 国立感染症情報センター週報第33週>

図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況

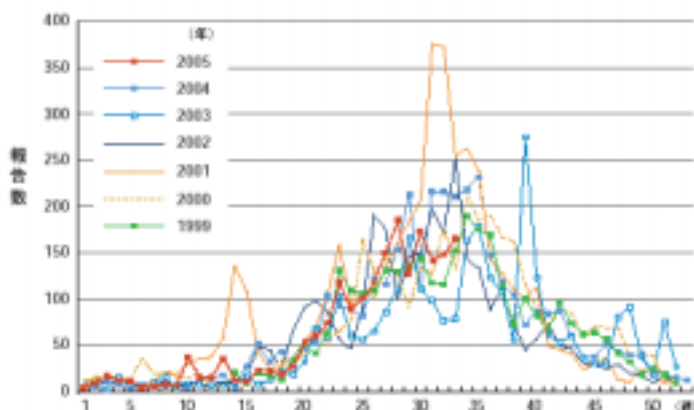


図2 保健所管内における月別報告数

